

VTホールディングス(株)

(7593 東証1部)連結

発行元:株式会社KCR総研 電話06-6965-6100

監修アナリスト 金田一 洋次郎

| | | | | | | | | |
|------|--------|---------|--------|------------|------------|----------------------------|-------------|--------------|
| 基本情報 | 発表日 | 17/5/26 | 郵便番号 | 460-0003 | 住所 | 名古屋市中区錦3-10-32 | 電話番号 | 052-203-9500 |
| | 【設立年月】 | 1983/03 | 【業種】 | 小売業 | 【決算期】 | 3月 | | |
| | 【代表者】 | 高橋 一穂 | 【生年月日】 | 1953年1月18日 | 【開示責任者】 | 取締役管理部長 山内 一郎 | | |
| | 【優待】 | 有 | | -円相当 | 【取引単位(株)】 | 100 | 【時価総額(百万円)】 | 74,733 |
| | 【配当利回】 | 2.9% | | | 【優待内容・中間配】 | 車検時利用優待券もしくはカタログギフト等、中間配当有 | | |
| | 【優待利回】 | - | | | 【高値騰落率】 | -28.0 | 【予想PER】 | 15.3 |
| | 【実質利回】 | - | | | 【安値騰落率】 | 317.3 | 【PBR(倍)】 | 2.14 |

| | | | | | | | |
|--------|---|---------------|-----------------------|------------------------|--------------------|---------------------|------------------|
| 事業内容 | カーディラー専業。ホンダ系、日産系を主軸にディーラー業務を世界的に展開。M&A戦略による成長戦略とストック型ビジネスモデルに特長。 | | | | | | |
| | 決算情報 | 決算期 | 売上高 (伸び率) (百万円) | 経常利益 (伸び率) (百万円) | 1株当たり 利益 (円) | 1株当たり 配当金 (円) | 売上高 経常 利益率 |
| | | 14/03連 | 132,682 | 9,976 | 46.3 | 12.3 | 7.5% |
| | | 15/03連 | 136,376 2.8% | 7,434 -25.5% | 39.4 | 14.0 | 5.5% |
| | | 16/03連 | 146,468 7.4% | 7,603 2.3% | 34.8 | 18.0 | 5.2% |
| | | 17/03連 | 169,560 15.8% | 7,937 4.4% | 37.6 | 17.0 | 4.7% |
| | | 今KCR予想 | 196,690 16.0% | 8,654 9.0% | 43.5 | 19.0 | 4.4% |
| 来KCR予想 | | 230,127 17.0% | 9,895 14.3% | 48.8 | 20.0 | 4.3% | |

投資判断

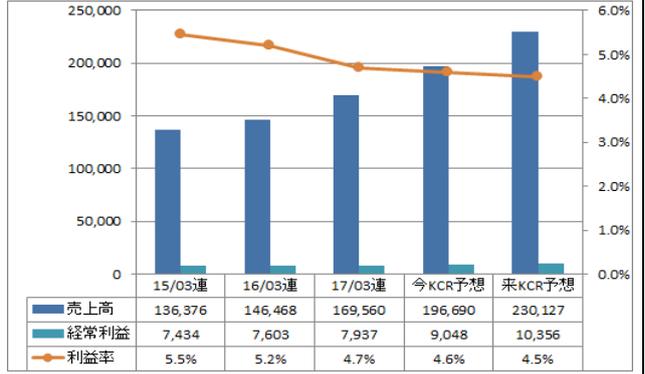
総合判断レーティング

+2 BUY

★★★★

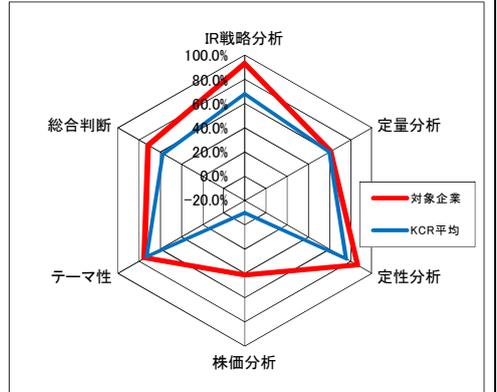
目標株価

814 円



| | |
|------|-------|
| 現在株価 | 626 円 |
|------|-------|

KCR総研はVTホールディングス(7593 東証1部)の総合判断レーティングを+2(BUY★★★★)とし投資判断を買い推奨(1年以内に+10%~のアウトパフォーマンスが予想される銘柄)を継続と発表する。総合判断レーティングの根拠として定量分析指数においては平均値を1.5%上回っており、定性分析指数において平均値を10.9%上回っている。株価は平均値より51.7%程度割安に推移しており、IR戦略は平均値を25.3%上回っている。またテーマ性においては平均値を2.0%上回っている。総合判断指数は平均を14.2%上回っていることから目標株価814円とする。



| | IR戦略分析 | 定量分析 | 定性分析 | 株価分析 | テーマ性 | 総合判断 |
|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|
| 対象企業 | 93.3% | 61.5% | 86.8% | 41.4% | 75.0% | 71.3% |
| KCR平均 | 68.0% | 60.0% | 75.9% | -10.2% | 73.0% | 57.2% |
| 差異 | 25.3% | 1.5% | 10.9% | 51.6% | 2.0% | 14.1% |

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役職員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いいたします。

VTホールディングス(株)

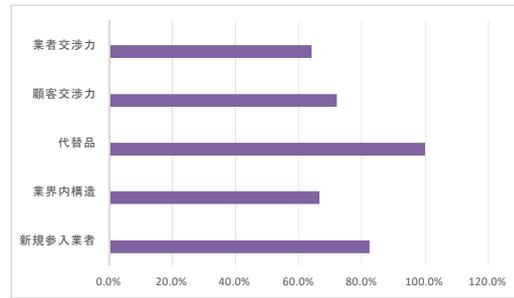
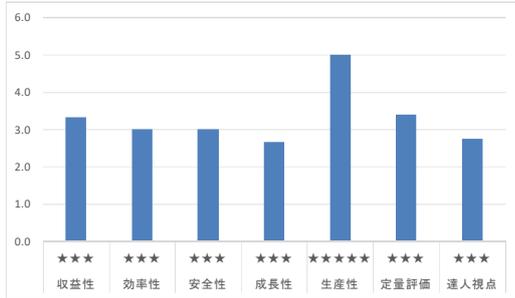
17/5/26

【コード】【業種】【市場】【決算】【主幹事】【現在株価】 626 円 【現在時価総額】 74,733 百万円
 7593 小売業 東証1部 3月 東海東京
 【事業内容】 カーディラー専業。ホンダ系、日産系を主軸にディーラー業務を世界的に展開。M&A戦略による成長戦略とストック型ビジネスモデルに特長。

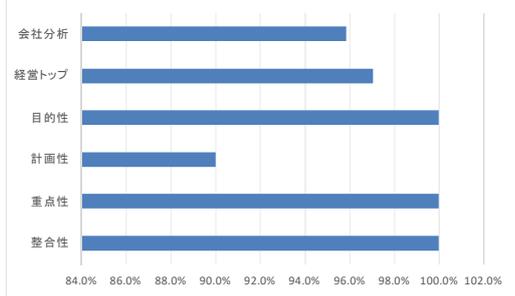
総合判断

+2 BUY

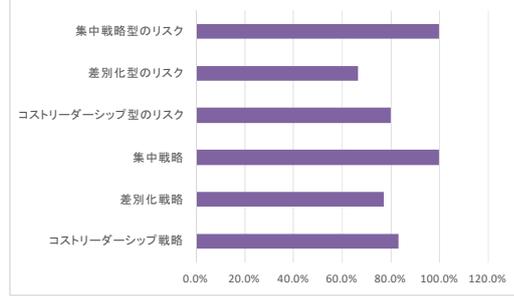
| | |
|----------|--------|
| 前回レーティング | +2 BUY |
| 参考株価 | 845 円 |



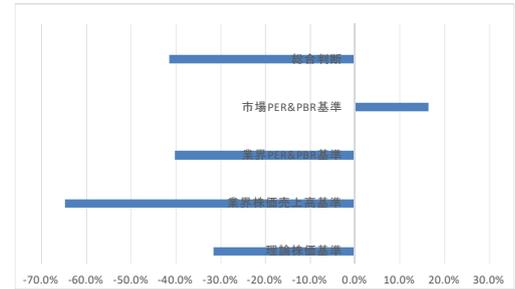
定量分析判断



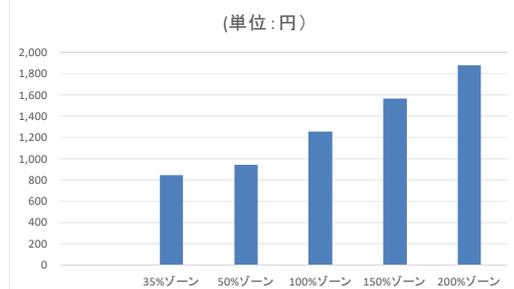
5フォース分析



戦略性チェック分析



戦略類型分析



株価分析判断

| | | | |
|---|-------|-------|-------|
| 定量分析判断 | 総合評価 | チャート | テーマ性 |
| 収益性 ★★★ 効率性 ★★★ 安全性 ★★★ 成長性 ★★★ 生産性 ★★★★★ 定量評価 ★★★ 達人視点 ★★★ | ★★★ | ★★★ | ★★★ |
| 3.3 3.0 3.0 2.7 5.0 3.4 2.8 | 3.1 | 75.0% | 75.0% |
| 定性分析判断 | 総合評価 | チャート | テーマ性 |
| 総合判断 86.8% ★★★★★ 戦略判断 85.5% ★★★★★ 新規参入業者 82.5% ★★★★★ 業界内構造 66.7% ★★★★★ 代替品 100.0% ★★★★★ 顧客交渉力 72.2% ★★★★★ 業者交渉力 64.3% ★★★★★ | ★★★★★ | ★★★★★ | ★★★★★ |
| 総合判断 86.8% 戦略判断 85.5% 新規参入業者 82.5% 業界内構造 66.7% 代替品 100.0% 顧客交渉力 72.2% 業者交渉力 64.3% | ★★★★★ | ★★★★★ | ★★★★★ |

参考株価

| | |
|---------|--------|
| 4指標総合判断 | 総合評価指数 |
| ★★★★★ | 71.3% |

| | | | | | |
|----------|----------|-----------|-------------|-------------|---------|
| 株価分析判断 | 理論株価基準 | 業界株価売上高基準 | 業界PER&PBR基準 | 市場PER&PBR基準 | 総合判断 |
| ★★★★★ | ★★★★★ | ★★★★★ | ★★★★★ | ★★★★★ | ★★★★★ |
| | -31.5% | -64.7% | -40.1% | 16.5% | -41.4% |
| 参考株価 | 35%ゾーン | 50%ゾーン | 100%ゾーン | 150%ゾーン | 200%ゾーン |
| (単位:円) | 845 | 939 | 1,252 | 1,565 | 1,878 |
| 参考時価総額 | 20%ゾーン | 50%ゾーン | 100%ゾーン | 200%ゾーン | - |
| (単位:百万円) | 89,679.0 | 112,098.8 | 149,465.1 | 224,197.6 | - |

| | | | |
|--------|-------|-----|-------|
| IR戦略分析 | ★★★★★ | 280 | 93.3% |
|--------|-------|-----|-------|

Comments
 KCR-総合判断レーティングレポートとは、IR戦略分析、定量分析、定性分析、株価分析を解析し、全体的なスコア、バランス、株価チャート、テーマ性を考えて、総合評価指数を算定し、+1~+5までの5段階で最終判断する。カバーリング企業には、投資判断レポートにて目標株価を設定する。

| | | | |
|----------------|-----------------|----------------------------------|-------|
| ※レーティングの見方 | ※レーティング有効期間:1年間 | | |
| レーティング | 総合評価指数 | 1年以内に+20%以上のアウトパフォームが予想される銘柄 | ★★★★★ |
| +1 Strong Buy | 80%~100%~ | 1年以内に+10%~のアウトパフォームが予想される銘柄 | ★★★★★ |
| +2 Buy | 60%~80%~ | 1年以内に+10%~-10%の相対パフォーマンスが予想される銘柄 | ★★★★★ |
| +3 Neutral | 40%~60%~ | 1年以内に-10%~のアンダーパフォームが予想される銘柄 | ★★★★★ |
| +4 Sell | 20%~40%~ | 1年以内に-20%以上のアンダーパフォームが予想される銘柄 | ★★★ |
| +5 Strong Sell | ~0%~20%~ | | ★ |

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

VTホールディングス(株)

(7593 東証1部)連結

会社概要と沿革

世界的自動車ディーラーとして、M&Aにより成長を続ける

VTホールディングス株式会社は、愛知県に本社を置く自動車ディーラーの持株会社であり、子会社43社及び関連会社8社で構成されている。ディーラー事業は、ホンダ系ディーラー、日産系ディーラー、輸入車ディーラー、輸入車インポーター及び海外自動車ディーラーからなり、主に新車・中古車の販売及び自動車の修理を実施している。自動車販売関連事業の売上構成比は、96%であり、その他に住宅関連事業(売上構成比4%)を展開している。

同社の主力の成長戦略はM&Aである。自動車販売関連事業は、新車部門、中古車部門、サービス部門、レンタカー部門、輸出部門に分かれており、国内M&Aによる事業拡大に加え、最近では海外M&Aを積極的に展開しており、イギリス、スペイン、オーストラリア、南アフリカなどでの海外売上高比率を30.6%まで伸ばしている。

同社は、主要子会社であるホンダカーズ東海、長野日産自動車、静岡日産自動車、三河日産自動車、日産サテオ埼玉等の主要7社で売上高全体の約半数を占めており、取扱メーカーは日産の比率が高い。自動車ディーラー業以外では、連結子会社として中古車輸出のトラスト(3347 東証2部上場)を展開するほか、トラストの子会社としてJ-netレンタリースにてレンタカー事業を展開。また、東海地区を中心に分譲マンションを展開するエムジホーム(8891 東証2部上場)等を傘下に収めている。

特長と強み

ビジネスモデルに3つの戦略

同社の成長のためのビジネスモデルには、大きく3つの戦略がある。一つは、上場以来、積極的に展開するM&A戦略。二つ目は、高い基盤収益カバー率、三つ目がストック型ビジネスモデルである。これら3つ戦略により高い成長と安定収益の実現をスピード感を持って達成することを目標としている。

同社の成長の源は、M&A戦略であるが、買収した企業を収益化するスピードにも特長がある。基盤収益カバー率とは、新車以外の粗利益 ÷ 販管費で示され、新車以外の部門の利益で、販管費をどの程度カバーできるかを表す指標であり、100%を超えれば、新車が売れなくても赤字にならないことを示している。同社の主要ディーラー平均は、2017年3月期で105.7%で、これは新車販売に大きく左右されない体質であることを示している。また、同社粗利の約4割は、サービス部門が占めている。サービス収益の向上は、新車販売台数ではなく保有台数を収益源とするストックビジネスモデルであるため、同社グループの取扱台数を増加させれば増加させるほど収益率が向上する仕組みとなっている。結果として、VTグループ全体の営業利益率と、業界平均営業利益率は、大きな差が開いている。

VTホールディングス(株)

(7593 東証1部)連結

直近業績

売上高は7期連続過去最高を更新、海外比率が増加

2017年3月期連結業績は、売上高1,695億60百万円(前期比15.8%増)、営業利益75億92百万円(前期比0.4%減)、経常利益79億37百万円(前期比4.4%増)、当期純利益44億21百万円(前期比8.1%増)となった。2017年3月期連結売上高は過去最高を更新した。7期連続の更新である。海外M&Aの増加により、海外売上比率は、約3割に増加している。利益は消費税駆け込みの時以来の2番目に高い利益水準となった。

国内でM&Aをした静岡BMW(2016年4月営業開始)のフル寄与に加え海外ではイギリスのWessex Garage Holdings(2016年5月子会社化)が9か月分、スペインのMaster Automocion, S.L.(2016年10月子会社化)が半期分と、2社のM&Aが大きく寄与した。一方、円高の影響で海外売上が円換算で減少したこともあり、売上高のみ当初会社計画値を下回っている。同社の新車、中古車を合わせた自動車販売台数は82,916台(前期比12.3%増)となり、自動車販売関連事業の売上高は1,626億87百万円(前期比16.2%増)、営業利益は75億29百万円(前期比2.4%減)となった。住宅関連事業においては、売上高は、67億31百万円(前期比7.4%増)、営業利益は5億41百万円(前期比86.2%増)と増収増益となった。

今後の見通し

会社計画は増収増益、海外インポーター事業も開始

2018年3月期連結業績における会社計画は、売上高1,960億円(前期比15.6%増)、営業利益85億円(前期比12.0%増)、経常利益85億円(前期比7.1%増)、当期純利益48億円(前期比8.5%増)と引き続き過去最高の売上高を見込み、増収増益を目指している。

国内自動車販売市場は、平成31年に延期された消費税増税前の一時的な駆け込み需要が期待される一方で、増税後は更なる市場の収縮も懸念されるなど、予断を許さない局面が続くものと予想しているが、同社は、グループ各社の中古車やサービス部門等の基盤収益の一層の向上やCSの改善に取り組むとともに、平成29年6月1日から南アフリカ共和国におけるインポーター事業を開始するなど、M&Aによる新たな事業の拡大にも努めていく構えである。

南アフリカのPEUGEOT CITROEN SOUTH AFRICA (PTY) LTDの子会社化は、2017年6月の予定だが、メーカーであるプジョーと合併で事業を継続する形であり、南アフリカでディーラー業を展開する子会社TRUST ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITEDとSKY ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITEDとのシナジーが期待される。PTY社は、前期赤字であるが、その分安く買収できており、80人いた従業員を20人に削減するなどリストラ完了してからM&Aを実施しており、早期に利益面での貢献も期待できる。

KCR総研では、売上高1966億69百万円、営業利益86億54百万円、経常利益86億54百万円、純利益51億93百万円を予想しており、会社計画より1円上乗せの増配も示唆している。

VTホールディングス(株)

(7593 東証1部)連結

市場環境

足元の国内新車販売台数は好調、海外展開加速

国内自動車販売会社の業界団体の発表によれば2016年度の国内新車販売台数は、前年度比2.8%増の507万7904台となり、3年ぶりにプラスとなった。排気量が660cc超の登録車が伸長し、大台の500万台を回復した。軽は5.1%減少したが、登録車は好調で7.5%増加した。コンパクトカーに乗り換えるとき、軽ではなく小型車を選ぶ消費者が増加していることが背景にあると思われる。昨年の三菱自動車不正燃費問題の反動もあり、2017年に入っても新車販売の好調が持続しており、2017年4月では新車販売台数は、前年同月比で9.2%増と6ヶ月連続で伸長しており、足元の状況はよい。

もとより、国内市場における乗用車保有台数は、車輛の保有年数の長期化などにより、増加傾向にあるため、同社の場合、新車に依存しない収益体質を築いており、新車販売台数もさることながら、乗用車保有台数が基本的に収益面に大きくヒットする指標となることに注目する必要がある。

また、近年は海外のM&Aに注力しており、売上高全体に占める海外比率も急速に上昇しており、ディーラー業だけでなくインポーター事業も手掛けるなど成長の伸びしろは極めて大きいといえる。

中期経営目標

成長性を重視、早期に連結売上高2000億円目標へ

同社は、中期経営計画を発表していない。これは、M&A戦略で成長するビジネスモデルであるため、不確定要素が大きいためである。しかし、M&Aは海外市場を含めて積極展開する姿勢を示しており、早期に連結売上高2000億円の達成したいと考えている。また、同時並行して、高い収益効率を目指し、事業規模の拡大と財務の安定性を両立させ、安定成長を目指すことを経営目標としている。

定性分析スコア

参入障壁が高く極めて高い戦略レベルを持つ

自動車ディーラー業界は、メーカーと違い技術革新のリスクにさらされず、将来、決して無くない業界である。マイケル・ポーターの競争理論に基づくKCR総研独自のスコアリングにおいては、5フォース分析において、新規参入業者83%、業界内構造67%、代替品100%、顧客交渉力72%、業者交渉力64%で業界環境分析73.1%とかなり高い水準である。また、同社戦略型はコストリーダーシップ戦略度83%、差別化戦略度77%、集中戦略度100%と総合戦略度86.9%で極めて高い水準となっている。同社のビジネスモデルにおける将来リスクは、82.2%と極めて低いリスク水準であり、経営バランス分析97.5%、経営トップ、会社分析96.4%、定性分析戦略判断85.5%と分析され、定性総合判断86.8%と極めて高い戦略レベルと判断されている。

(9ページ参照:KCR-定性分析レポート)

VTホールディングス(株)

(7593 東証1部)連結

経営者経歴

上場時よりM&Aで業容を拡大、海外M&Aに注力

同社の現代表取締役であり創業者である高橋一穂氏は、1953年1月18日生まれである。1972年、愛知日野自動車株式会社に入社し、1978年に独立して中古車販売会社を起業した。1983年に同社を設立し、社長に就任し、自動車ディーラー事業に参入。1998年上場以降は、積極的M&Aで業容を拡大しおり、近年は特に海外M&Aに注力している。

定量分析スコア

ROEが比較会社と比べて高水準で生産性が高い

同社は、自動車ディーラー専門企業であるが、資本市場において、同様の業種であるカーディーラーと比較するのは、同社の成長性を正しく反映しない可能性がある。他のカーディーラーは、同社の根幹とも言えるM&A戦略をビジネスモデルの主軸に据えておらず、メーカー系列が主流で、低成長、低収益の企業が多いからである。従って、業種業態は異なっても、M&A戦略を成長モデルに掲げる企業と財務面、株価面を分析することが好ましいと思われる。

KCR総研では、同社の財務分析を実施するにあたり、自動車関連業界である(株)IDOM(7599 東証1部)の他にM&A戦略を成長モデルとして掲げる日本電産株式会社(6594 東証1部)、株式会社コロワイド(7616 東証1部)を選択し3社平均で比較した。

M&Aを主軸として成長戦略にする企業は、総じて、安全性の指標である負債比率が高くなりがちであり、自己資本比率が低いのが特長である。同社においても、前期負債比率は239.2%、自己資本比率は28.8%と、一般的に安全性は低く感じるが、こうした問題は、M&A戦略成長企業に共通してみられる兆候であり、先に掲げた3社の前期平均負債比率は274.3%、前期平均自己資本比率は33.1%であり、遜色がないことが分かる。また、同社は、前期ROEが12.6%と高く特に従業員一人当たりの生産性が高いことも大きな特長である。(10ページ参照:KCR-定量分析レポート)

株価分析スコア

理論株価の総合評価は、1068円と割安

KCR総研の株価分析による理論株価算定においては、類似会社比準方式による平均値で1084円と理論値を下回っていて割安な水準、全理論株価平均でも914円と割安な状況にある。類似企業の売上高倍率平均比較では1774円と割安、EPS・PBR平均比較では1045円と割安、市場とのEPS・PBR平均比較では537円ではあるが、4平均総合評価は1068円と割安の水準と分析され、現状株価626円は、割安な株価といえる。(8ページ参照:KCR-株価分析レポート)

VTホールディングス(株)

(7593 東証1部)連結

IR戦略と株主還元

配当性向40%以上、年間16円を見込む

同社のIR活動は、5段階評価でIRオフライン充実度5、IRオンライン充実度5、IRツール充実度3、IRフェアディスクロ度5であり、IR経営戦略度5、総合評点93.3%、280ポイントと判断される。(19ページ参照参照:KCR-IR戦略分析レポート)

同水準は、極めて高いレベルでIR活動を実施しているということであり、同社が、株主・投資家政策を重視している表れである。

株主還元にも積極的に取り組んでおり、引き続き連結配当性向40%以上を用途に継続的な配当を実施する予定である。2018年3月期は普通配当で1株当たり年間18円を予定している。

まとめ

レポートのまとめ

○VTホールディングス株式会社は、日産、ホンダを主力に扱うグローバル自動車ディーラーである。近年、海外M&Aを積極的に展開し、世界展開を加速している。

○2017年3月期連結売上高は7期連続過去最高を更新し、海外比率が3割に増加した。売上高1,695億60百万円(前期比15.8%増)、営業利益75億92百万円(前期比0.4%減)、経常利益79億37百万円(前期比4.4%増)、当期純利益44億21百万円(前期比8.1%増)となった。

○2018年3月期連結業績における会社計画は、売上高1,960億円(前期比15.6%増)、営業利益85億円(前期比12.0%増)、経常利益85億円(前期比7.1%増)、当期純利益48億円(前期比8.5%増)と引き続き過去最高の売上高を見込み、増収増益を目指している。南アフリカの PEUGEOT CITROEN SOUTH AFRICA (PTY) LTD を子会社化し、海外においてインポーター事業を開始する。

○2016年度の日本国内新車販売台数は、前年度比2.8%増の507万7904台となり、3年ぶりにプラスとなり、足元の市場環境は順調である。また、同社の場合、新車販売台数もさることながら、乗用車保有台数が基本的に収益面に大きくヒットする指標となることに注目する必要がある。

○KCR総研では、2018年3月期において連結売上高は、過去最高を更新し、それに伴い利益面でも順調に増額できると想定している。KCR総研はVTホールディングスの総合判断レーティングを+2(BUY)とし投資判断を買い推奨を継続と発表し、目標株価を814円とする。

VTホールディングス(株)

(7593 東証1部)連結

売買管理番号 7593SB170526

株価総合判断

| | | | | |
|--------|-----------|-------------|-------------|-------|
| 理論株価基準 | 業界株価売上高基準 | 業界PER&PBR基準 | 市場PER&PBR基準 | ★★★★★ |
| 乖離率 | ★★★★★ | ★★★★★ | ★★★★★ | ★★★★★ |

| | | | | | |
|-----------|---------|---------|---------------|---------|---------|
| 算定結果 | | | | | |
| 類似会社比準方式 | 1,084 円 | -42.3% | 直近株価 | 17/5/26 | 626 円 |
| 簿価純資産価額方式 | 293 円 | 113.6% | 株価収益率 | | 15.57 倍 |
| 収益還元方式 | 1,384 円 | -54.8% | 株価純資産倍率 | | 2.14 倍 |
| 売上高倍率方式 | 1,774 円 | -64.7% | 予想株価収益率(JQ) | | 16.89 倍 |
| DCF方式 | 34 円 | 1760.7% | 類似企業平均株価収益率 | | 28.52 倍 |
| 全理論株価平均 | 914 円 | -31.5% | 株価純資産倍率(JQ) | | 1.35 倍 |
| | | KCR平均 | 類似企業平均株価純資産倍率 | | 3.22 倍 |
| | | -4.30% | 予想株式益利回り | | 6.45 % |
| | | | 予想平均配当利回り(JQ) | | 1.66 % |

| 前提条件 | 前々々期 | 前々期 | 前期 | 今期KGR | 来期KGR | 来々期KGR |
|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| (単位:百万円) | 実績 | 実績 | 実績 | 予想 | 予想 | 予想 |
| 売上高 | 136,376 | 146,468 | 169,560 | 196,690 | 230,127 | 271,550 |
| 経常利益 | 7,434 | 7,603 | 7,937 | 8,654 | 9,895 | 11,405 |
| 当期純利益 | 4,633 | 4,090 | 4,421 | 5,193 | 5,937 | 6,843 |
| 営業活動によるCF | 4,259 | 9,640 | 11,017 | 7,000 | 9,000 | 10,000 |
| 投資活動によるCF | -5,017 | -3,220 | -13,103 | -1,500 | -1,500 | -2,000 |

| VTホールディングス(株) | 類似競合3社 | | | |
|---------------|---------------|----------------------|---------------|---------------|
| 売上高 | 196,000 百万円 | 今期予想 | 日本電産(株) | (6594 東証1部)連結 |
| 経常利益 | 8,500 百万円 | 今期予想 | (株)IDOM | (7599 東証1部)連結 |
| 当期純利益 | 4,800 百万円 | 今期予想 | (株)コロワイド | (7616 東証1部)連結 |
| 自己資本 | 34,983 百万円 | 直近値 | | |
| 発行済株式数 | 119,381,034 株 | 直近値 | | |
| 株価 | 626 円 | 直近値 | | |
| 時価総額 | 74,733 百万円 | 直近値 | | |
| 1株当売上高 | 1,642 円 | 類似企業平均時価総額 | 1,158,989 百万円 | 乖離率 |
| 1株当当期純利益 | 40 円 | 類似企業株価売上高倍率 | 1.08 倍 | -93.6% |
| 1株当純資産 | 293 円 | 算定値(※KCR平均-6.6%) | 1,774 円 | -64.7% |
| 株価売上高倍率 | 0.38 倍 | EPS×類似企業平均 | 1,147 円 | -45.4% |
| 株価収益率 | 15.57 倍 | PBR×類似企業平均 | 943 円 | -33.6% |
| 株価純資産倍率 | 2.14 倍 | 類似企業全平均(※KCR平均18.9%) | 1,045 円 | -40.1% |
| 株価益利回り | 6.42% | EPS×市場平均 | 679 円 | -7.8% |
| | | PBR×市場平均 | 396 円 | 58.2% |
| | | 市場全平均(※KCR平均16.9%) | 537 円 | 16.5% |
| | | 4平均(※KCR平均-10.2%) | 1,068 円 | -41.4% |

| 日本電産(株) | A | (株)IDOM | B | | |
|----------|---------------|---------|----------|---------------|------|
| 売上高 | 1,350,000 百万円 | 今期予想 | 売上高 | 259,500 百万円 | 今期予想 |
| 税前利益 | 158,000 百万円 | 今期予想 | 経常利益 | 4,900 百万円 | 今期予想 |
| 当期純利益 | 125,000 百万円 | 今期予想 | 当期純利益 | 2,800 百万円 | 今期予想 |
| 自己資本 | 847,285 百万円 | 今期予想 | 自己資本 | 38,728 百万円 | 今期予想 |
| 発行済株式数 | 298,142,234 株 | 直近値 | 発行済株式数 | 106,888,000 株 | 直近値 |
| 株価 | 10,970 円 | 直近値 | 株価 | 612 円 | 直近値 |
| 時価総額 | 3,270,620 百万円 | 直近値 | 時価総額 | 65,415 百万円 | 直近値 |
| 1株当売上高 | 4,528 円 | | 1株当売上高 | 2,428 円 | |
| 1株当当期純利益 | 419 円 | | 1株当当期純利益 | 26 円 | |
| 1株当純資産 | 2,842 円 | | 1株当純資産 | 362 円 | |
| 株価売上高倍率 | 2.42 倍 | | 株価売上高倍率 | 0.25 倍 | |
| 株価収益率 | 26.16 倍 | | 株価収益率 | 23.36 倍 | |
| 株価純資産倍率 | 3.86 倍 | | 株価純資産倍率 | 1.69 倍 | |
| 株価益利回り | 3.82% | | 株価益利回り | 4.28% | |

| (株)コロワイド | C | KCR-株価分析レポートは、KCR業績予想に基づく類似会社比準方式、簿価純資産方式、収益還元方式、売上高倍率方式、ディスカウントキャッシュフロー方式の5つの理論株価総合平均に加え市場及び業界のPER、PBRを加味した理論値からの乖離率によって企業の株価の割高度、割安度を格付するレポートでありマイナス乖離ほど割安企業であることを示している。 | | | |
|----------|--------------|--|----------|----------|--|
| 売上高 | 248,537 百万円 | 今期予想 | | | |
| 経常利益 | 6,353 百万円 | 今期予想 | | | |
| 当期純利益 | 3,912 百万円 | 今期予想 | | | |
| 自己資本 | 34,304 百万円 | 今期予想 | | | |
| 発行済株式数 | 75,284,041 株 | 直近値 | | | |
| 株価 | 1,872 円 | 直近値 | | | |
| 時価総額 | 140,932 百万円 | 直近値 | | | |
| 1株当売上高 | 3,301 円 | | | | |
| 1株当当期純利益 | 52 円 | | | | |
| 1株当純資産 | 456 円 | | | | |
| 株価売上高倍率 | 0.57 倍 | | | | |
| 株価収益率 | 36.03 倍 | | | | |
| 株価純資産倍率 | 4.11 倍 | | | | |
| 株価益利回り | 2.78% | | | | |
| | | | 類似会社比準方式 | | |
| | | | 平均 | 1,084.25 | |
| | | | 最大 | 1,118.47 | |
| | | | 最小 | 1,052.31 | |

| | 平均株価 | 平均EPS | 平均BPS | 算定価格 | | |
|---|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| A | B | C | 4,485 | 165.8 | 1,220 | 1,082 |
| A | B | C | 5,791 | 222.7 | 1,602 | 1,052 |
| A | B | C | 6,421 | 235.6 | 1,649 | 1,118 |
| | B | C | 1,242 | 39 | 409 | 1,084 |

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いいたします。

| | | |
|------|-------|-------|
| ★の見方 | ★★★★★ | かなり割安 |
| | ★★★★ | 割安 |
| | ★★★ | 標準 |
| | ★★ | 割高 |
| | ★ | かなり割高 |

VTホールディングス(株)

定性総合判断

【コード】 7593 【業種】 小売業 【市場】 東証1部 【決算】 3月 【代表者】 高橋 一穂

★★★★★

【事業内容】 カーディーラー専門。ホンダ系、日産系を主軸にディーラー業務を世界的に展開。M&A戦略による成長戦略とストック型ビジネスモデルに特長。

| | | | | | | | | |
|--------|--------|-------|-------|--------|-------|-----------------|--------|-------|
| 総合判断 | 86.8% | ★★★★★ | 整合性 | 100.0% | ★★★★★ | コストリーダーシップ戦略 | 83.3% | ★★★★★ |
| 戦略判断 | 85.5% | ★★★★★ | 重点性 | 100.0% | ★★★★★ | 差別化戦略 | 77.3% | ★★★★★ |
| 新規参入業者 | 82.5% | ★★★★★ | 計画性 | 90.0% | ★★★★★ | 集中戦略 | 100.0% | ★★★★★ |
| 業界内構造 | 66.7% | ★★★★★ | 目的性 | 100.0% | ★★★★★ | コストリーダーシップ型のリスク | 80.0% | ★★★★★ |
| 代替品 | 100.0% | ★★★★★ | 経営トップ | 97.1% | ★★★★★ | 差別化型のリスク | 66.7% | ★★★★★ |
| 顧客交渉力 | 72.2% | ★★★★★ | 会社分析 | 95.8% | ★★★★★ | 集中戦略型のリスク | 100.0% | ★★★★★ |
| 業者交渉力 | 64.3% | ★★★★★ | | | | | | |

■ファイブフォース分析 業界の競争要因・企業体質を見極める KCR平均 64.0% ■戦略類型分析 戦略型を確認するとともにバランスを見極める KCR平均 78.9%

対象セクター 自動車ディーラー業界

| | | |
|----------------|-------------|-----|
| 新規参入業者 | 規模の経済性 | 10 |
| | 製品の差別化 | 5 |
| | 巨額の投資 | 5 |
| | 調達先変更のコスト | 10 |
| | 流通チャネルの確保 | 10 |
| 規模以外のコスト面での優位性 | 6 | |
| 官の規制 | 10 | |
| 強い報復活動 | 10 | |
| 小計 | 83% | 66 |
| 業界内構造 | 同業者・同規模会社の数 | 10 |
| | 成長スピード | 5 |
| | 固定・在庫コストの規模 | 10 |
| | 差別化 | 0 |
| | 顧客の定着化 | 10 |
| 供給能力の拡大 | 10 | |
| 異質な戦略 | 0 | |
| 戦略結果の果実 | 5 | |
| 撤退障壁 | 10 | |
| 小計 | 67% | 60 |
| 代替品 | 高収益企業が存在 | 10 |
| | 同機能低価格の可能性 | 10 |
| 小計 | 100% | 20 |
| 顧客交渉力 | 顧客の力 | 10 |
| | 顧客の数 | 10 |
| | 顧客コストの割合 | 5 |
| | 差別化 | 5 |
| | スイッチングコスト | 10 |
| 裕幅 | 5 | |
| 川上統合可能性 | 10 | |
| 必要性 | 10 | |
| 情報量 | 10 | |
| 小計 | 72% | 65 |
| 業者交渉力 | 寡占化 | 5 |
| | 代替・変革可能性 | 10 |
| | 顧客重要度 | 10 |
| | 必要性 | 0 |
| | 差別化 | 5 |
| スイッチングコスト | 10 | |
| 川下統合可能性 | 5 | |
| 小計 | 64% | 45 |
| 合計 | 73% | 256 |

| | | |
|--------------|----------|-----|
| コストリーダーシップ戦略 | 業界最安値価格 | 5 |
| | 低コスト体質 | 10 |
| | 粗利益率 | 10 |
| | 設備投資 | 5 |
| | プロセス技術 | 10 |
| | 流通コスト | 10 |
| | 資金力 | 5 |
| | 資金調達力 | 5 |
| | システム完成度 | 10 |
| | コスト管理・体制 | 10 |
| | 権限・責任 | 10 |
| | 成果報酬制度 | 10 |
| | 合計 | 120 |
| | | 83% |
| | | 100 |

| | | |
|--------|-----------|----|
| 差別化戦略 | 製品設計 | 0 |
| | ブランドイメージ | 10 |
| | テクノロジー | 5 |
| | 製品特長 | 10 |
| | 顧客サービス | 10 |
| | 流通ネットワーク | 10 |
| | マーケティング能力 | 10 |
| | 研究開発力 | 0 |
| | 経験値 | 10 |
| | 想像力 | 10 |
| 人材システム | 10 | |
| 合計 | 110 | |
| | 77% | |
| | 85 | |

| | | |
|------|-------------|----|
| 集中戦略 | 特定ターゲットへの投資 | 10 |
| | 特定製品への投資 | 10 |
| | 特定エリアへの投資 | 10 |
| | 特定セグメントへの投資 | 10 |
| | 合計 | 40 |
| | 100% | |
| | 40 | |

■将来の検証&リスク分析 将来の脅威に対するリスクを見極める

| | | | |
|-------------------|---------------|-------|-------|
| リスク分析 | 82.2% | KCR平均 | 61.4% |
| コスト・リーダーシップ戦略のリスク | 他社による技術革新可能性 | 10 | |
| | ライバル企業の低コスト化 | 10 | |
| | 製品の改良 | 10 | |
| | マーケティングの改良 | 10 | |
| | コストアップインフレの影響 | 0 | |
| | 合計 | 50 | |
| | 80% | | |
| | 40 | | |

■戦略性チェック分析 整合度、重点度、計画性、目的度の4視点から見極める

経営バランス分析 97.5% KCR平均 91.1%

| | | |
|-------|------------|----|
| 整合性分析 | 外部環境と経営環境 | 10 |
| | 全社戦略と事業戦略 | 10 |
| | 経営戦略と経営諸機能 | 10 |
| | 経営諸機能内 | 10 |
| | 短期と将来 | 10 |
| 合計 | 50 | |
| | 100% | |
| | 50 | |

| | | |
|-----------|--------------|----|
| 差別化戦略のリスク | 他社へのブランド指名買い | 0 |
| | 顧客ニーズの変化 | 10 |
| | 模倣の乱発 | 10 |
| | 合計 | 30 |
| | 67% | |
| | 20 | |

| | | |
|-------|------------|----|
| 重点性分析 | 事業領域、市場、製品 | 10 |
| | 静態的経営資源の投入 | 10 |
| | 動態的経営資源の投入 | 10 |
| | 自社の強み | 10 |
| | 絞り込み | 10 |
| 合計 | 50 | |
| | 100% | |
| | 50 | |

| | | |
|----------|-------------|----|
| 集中戦略のリスク | コスト優位性の崩壊 | 10 |
| | 特異ニーズの崩壊 | 10 |
| | 特定ターゲットの細分化 | 10 |
| | 合計 | 30 |
| | 100% | |
| | 30 | |

| | | |
|-------|-----------|----|
| 計画性分析 | 目標への到達 | 10 |
| | 長期視点での計画 | 5 |
| | 短期計画と長期計画 | 10 |
| | 下方修正 | 10 |
| | 計画柔軟性 | 10 |
| 合計 | 50 | |
| | 90% | |
| | 45 | |

■その他の定性要因 戦略とは別の要因をチェック

| | | |
|-------|----------|-------|
| 96.4% | KCR平均 | 91.2% |
| 経営トップ | 経営スタンス | 165 |
| | 合計 | 170 |
| | 97% | |
| | 165 | |
| 会社分析 | 本社・環境・社風 | 115 |
| | 合計 | 120 |
| | 96% | |
| | 115 | |

| | | |
|-------|-------------|----|
| 目的性分析 | 戦略ドメイン | 10 |
| | 社是・経営理念、CSR | 10 |
| | 企業目的のステージ | 10 |
| | 企業目標と経営戦略 | 10 |
| | 企業目標と従業員 | 10 |
| 合計 | 50 | |
| | 100% | |
| | 50 | |

KCR-定性分析レポートは、定性情報をKCR総研独自の132項目のマトリックス分析により数値化したもので、ポーターの競争戦略理論から企業の競争力を格付けしている。★が高いほど競争力があることを意味しており、定量情報では表れない企業の将来性を格付けしている。KCR平均の業界環境は、64.0%、戦略型78.9%、将来リスク61.4%、経営バランス91.1%、経営トップ他91.2%、定性総合評価75.9%。

★の見方

| | | |
|---------|---------|-------|
| 戦略レベル | | |
| 極めて戦略的 | 80~100% | ★★★★★ |
| かなり戦略的 | 60~80% | ★★★★ |
| 戦略的 | 40~60% | ★★★ |
| やや戦略に劣る | 20~40% | ★★ |
| 戦略性に乏しい | 0~20% | ★ |

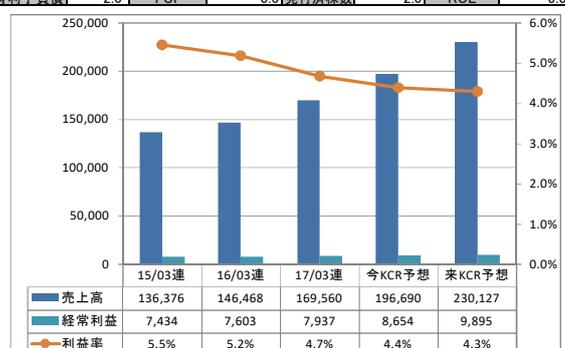
このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいておりますが、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされようお願いします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

VTホールディングス(株)
【コード】7593 【業種】小売業 【市場】東証1部 【決算】3月 【上場年月】1998年9月
【EPS(円)】297.33 【PER(倍)】16.7 【PBR(倍)】2.11
【住所・TEL】460-0003 名古屋市中区錦3-10-32 052-203-9500
【配当利回り】2.9% 【直近株価】626円
【優待利回り】- 【時価総額】74,733百万円
【主幹事】東海東京 【名義代理】三井住友信託 【実質利回り】-
【メインバンク】りそな 【監査法人】東海会計社 【資本金】4,297百万円
【発行済株式】28,038千株
【発行済株式】6.5倍
【自己株式】1,726.6千株
【自己資本比率】1.45%
【直近自己資本】34,983百万円
【直近PBR】2.14

財務比率表
(百万円) 売上高 132,682 増収率 2.8% 営業利益 10,082 利益率 7.6%
(百万円) 経常利益 9,976 利益率 7.5%
(百万円) 利益 5,126 利益率 3.86%
(円) EPS 46.29 1株配当 12.33 性向 26.6%
(千株) 発行済株式数 119,381,034
(百万円) 営業CF 13,929
(百万円) 投資CF -570
(百万円) FCF 13,359
(百万円) 財務CF -9,939
(百万円) 現金等 7,597

達人の視点16項目評価スコア
資利率率 5.0 配当利回り 5.0 売上高経常利益率 0.0 時価総額 1.0
PBR 1.0 設立年 5.0 業種 3.0 悪材料 1.0
PER 3.0 安値騰落率 1.0 単純平均 5.0 EPS 5.0
有利子負債 2.0 FCF 0.0 発行済株式数 2.0 ROE 5.0

四半期分析
今1Q分析 47,500 1,750 3.7% 1,750 3.7% 950 2.0%
前1Q 31,856 49.1% 964 81.5% 892 96.2% 436 117.9%
今2Q分析 47,500 1,750 3.7% 1,750 3.7% 950 2.0%
前2Q 41,613 14.1% 2,078 -15.8% 2,154 -18.8% 1,254 -24.2%
今3Q分析 50,500 2,500 5.0% 2,500 5.0% 1,450 2.9%
前3Q 40,511 24.7% 1,120 123.2% 1,303 91.9% 573 153.1%
今4Q分析 50,500 2,500 5.0% 2,500 5.0% 1,450 2.9%
前4Q 55,580 -9.1% 3,430 -27.1% 3,588 -30.3% 2,158 -32.8%

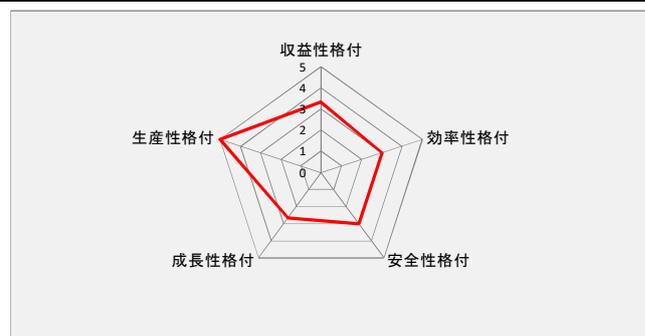


セグメント情報
17/03連 16/03連
自動車販売関連 95.9% 95.6% 0.3%
住宅関連 4.0% 4.3% -0.3%
その他 0.1% 0.1% 0.0%
合計 100.0% 100.0%

収益性 前々期 前期 今期予想 KCR予想
総資本経常利益率(ROA) 8.0% 6.5% 7.0% 7.1%
株主資本当期純利益率(ROE) 12.5% 12.6% 13.7% 14.8%
売上高経常利益率 5.2% 4.7% 4.3% 4.4%
効率的性 総資本回転率(回) 1.5 1.4 1.6 1.6
流動資産回転率(回) 3.8 3.1 3.6 3.2
固定資産回転率(回) 2.6 2.5 2.9 2.6
安全性 流動比率 85.5% 88.1% 88.1%
負債比率 184.2% 239.7% 239.7%
自己資本比率 34.4% 28.8% 28.8%
成長性 増収率 7.4% 15.8% 15.6%
経常増益率 2.3% 4.4% 7.1%
自己資本成長率 5.8% 6.9% -
生産性 従業員一人当たり売上高(千円) 56,573 65,492 65,008 65,237
従業員一人当たり経常利益(千円) 2,937 3,066 2,819 2,870
従業員一人当たり当期利益(千円) 1,580 1,708 1,592 1,722

総合評価
収益性 3.3 効率的性 3.0 安全性 3.0 成長性 2.7 生産性 5.0 定量評価 3.4 達人視点 2.8 総合評価 3.1 評価指数 61.5%

財務Comments
KCR-定量分析レポートは、類似・競合会社との比較による財務分析に基づく格付レポートである。企業の収益性、効率的性、安全性、成長性、生産性の5つの指標に加え、KCR総研独自開発の達人視点分析指数を加えて総合判断を実施している。KCR平均の評価指数は、収益性2.9、効率的性3.1、安全性3.0、成長性3.0、生産性2.7、定量評価2.9、総合評価指数60.0%。



このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考えられる情報源から得たデータ等に基づいておりますが、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するのではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いいたします。

| | | | | | | | |
|---------------|----------------|---|----------|--|--------------|------------|------|
| KCR-達人視点レポート | | | | 3人の達人のスタンスを知るレポート。達人視点16項目により、株価は割安か、中長期投資できるかを判断する。 | | 株式会社 KCR総研 | |
| VTホールディングス(株) | | | | (7593 東証1部)連結 | 17/5/26 | 達人視点指数合計 | |
| 決算 | 3月 | 〒 | 460-0003 | TEL | 052-203-9500 | 9.8 | |
| 住所 | 名古屋市中区錦3-10-32 | | | 代表者 | 高橋 一穂 | KCR平均 | 12.8 |

【事業内容】 カーディーラー專業。ホンダ系、日産系を主軸にディーラー業務を世界的に展開。M&A戦略による成長戦略とストック型ビジネスモデルに特長。

※予想は原則会社予想、アセットは直前期

| 資本金 (百万円) | 利益剰余金 (百万円) | 株価 (円) | 株主持分 (百万円) | 発行済株式数 (千株) | BPS (円) | 営業CF (百万円) | 投資CF (百万円) |
|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|-----------------|------------------|---------------|
| 4,297 | 28,038 | 626 | 34,983 | 119,381.0 | 297 | 11,017 | -13,103 |
| 総資産 (百万円) | 有利子負債 (百万円) | 配当 (1株当り円) | 配当性向 | 設立年月 | 5年内高値 (円) | 5年内安値 (円) | 高値騰落率 (%) |
| 121,493 | 29,735 | 18 | 44.1% | 1983年3月 | 870 | 150 | -28.0 |
| 予想売上高 (百万円) | 予想営業利益 (百万円) | 予想税前列益 (百万円) | 当期予想利益 (百万円) | 予想EPS (円) | 予想ROE (純利益率) | 予想ROA (経常利益率) | 自己資本比率 |
| 196,000 | 8,500 | 8,500 | 4,800 | 40.80 | 13.7% | 7.0% | 28.8% |

| 資利倍率 (倍) | PBR (倍) | 予想PER (倍) | 有利子負債依存度 | 配当利回り (%) | 設立年数 (年) | 安値騰落率 (%) | FCF (百万円) |
|-------------|------------|--------------|-------------------|---------------|-------------|--------------|--------------|
| 6.5 | 2.1 | 15.3 | 24.5% | 2.9 | 34 | 317.3 | -2,086 |
| 5.0 | 1.0 | 3.0 | 2.0 | 5.0 | 5.0 | 1.0 | 0.0 |
| 売上高経常利益率 | 業種 | 単純平均 (円) | 発行済株式数 (換算・千株) | 時価総額 (百万円) | 悪材料 | EPS | ROE |
| 4.3% | 小売業 | 62.6 | 1,193,810 | 74,733 | 増収増益 | 増加 | 13.7% |
| 0.0 | 3.0 | 5.0 | 2.0 | 1.0 | 1.0 | 5.0 | 5.0 |

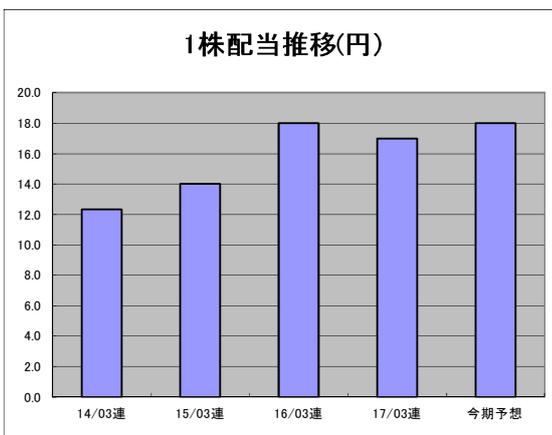
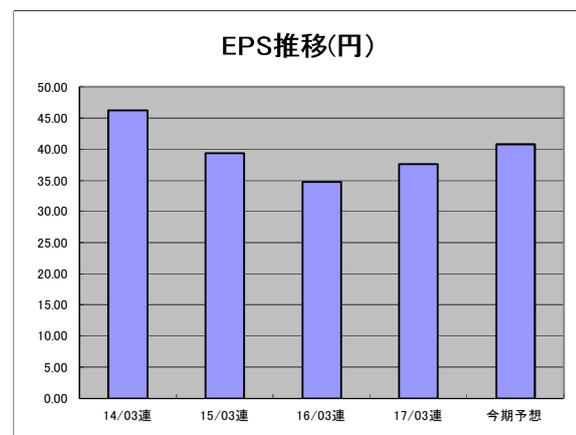
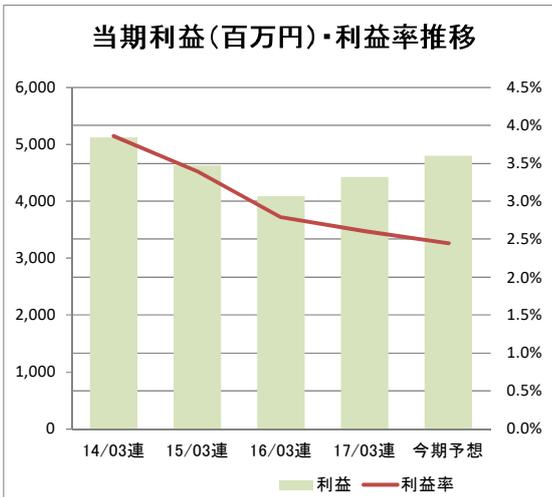
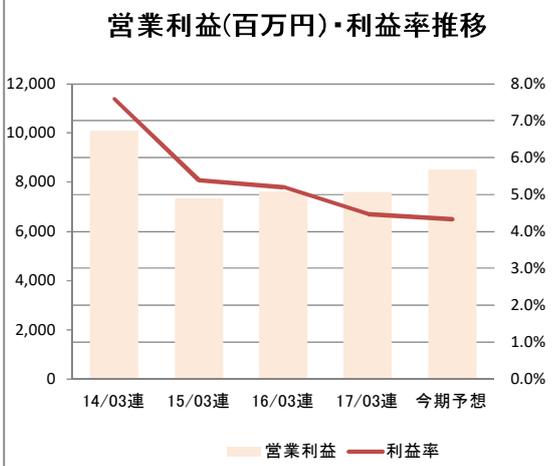
| 達人の視点 | 評点 | 格付 | KCR平均 | 達人視点レーダーチャート | |
|--------|-----|-----|-------|--------------|--|
| 達人Eの視点 | 2.0 | ★★ | 3.1 | | |
| 達人Tの視点 | 2.6 | ★★★ | 3.3 | | |
| 達人Bの視点 | 2.4 | ★★ | 3.1 | | |
| 達人総合指数 | 2.8 | ★★★ | 3.3 | | |

※本レポートの3人の達人は実在する投資家の視点をKCR総研が客観的に独自分析しているもので、実在の人物とは一切関係ないにご留意ください。

| レーティング | 評点 | 達人E氏の視点 | 達人T氏の視点 | 達人B氏の視点 |
|--------|---------|--|--|--|
| ★★★★★ | 4.5~5.0 | サラリーマンから株で資産30億円を築いた投資家の視点を分析。低位株投資・逆張り戦略などに特長がある。 | 個人投資家として300億円の資産を株で築いた投資家の視点を分析。長期集中投資・配当重視などに特長がある。 | 株で5兆円を築いた世界的著名投資家の視点を分析。割安株バリュー投資、ROEなど収益面の指標重視に特長がある。 |
| ★★★★ | 3.4~4.4 | | | |
| ★★★ | 2.5~3.4 | | | |
| ★★ | 1.5~2.4 | | | |
| ★ | 0~1~1.4 | | | |

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいておりますが、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いいたします。

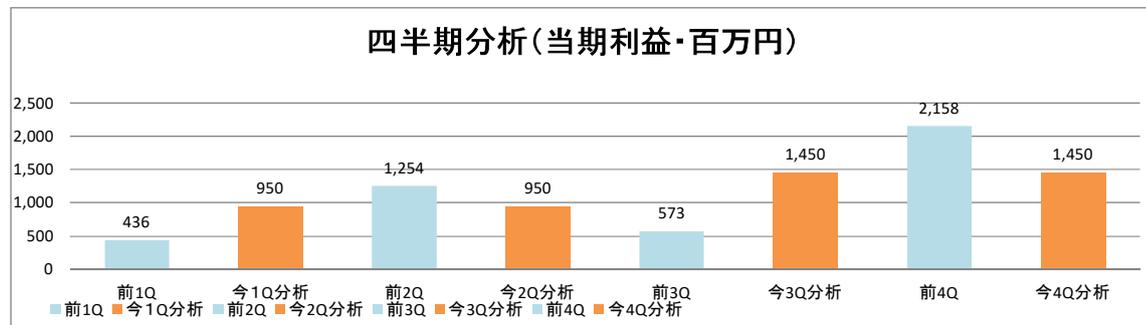
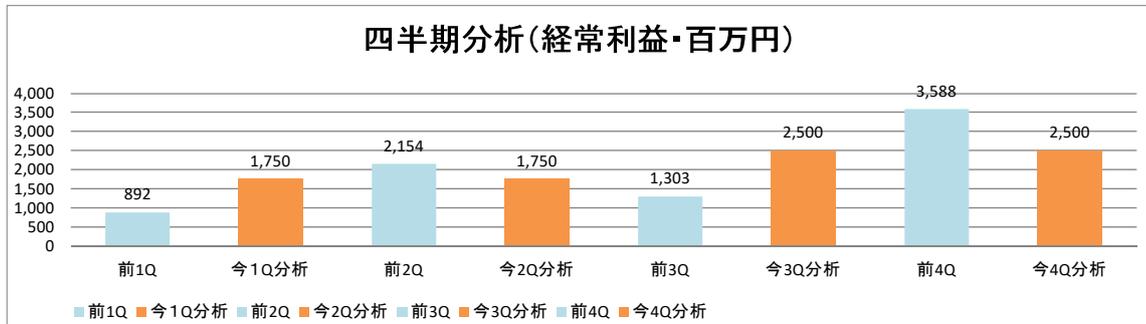
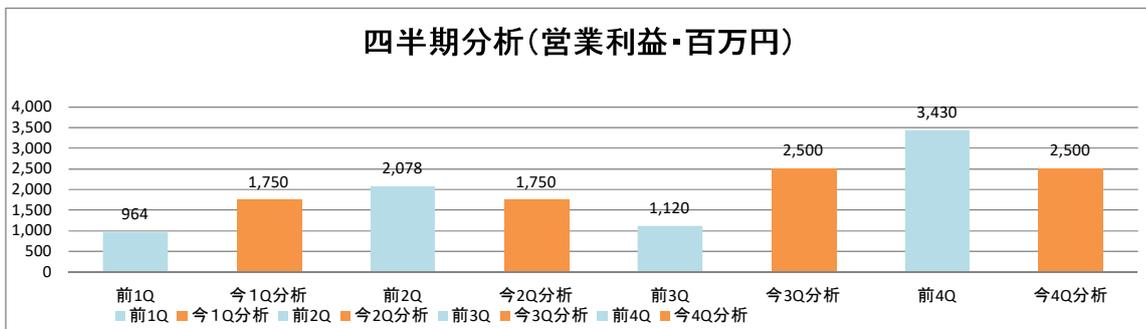
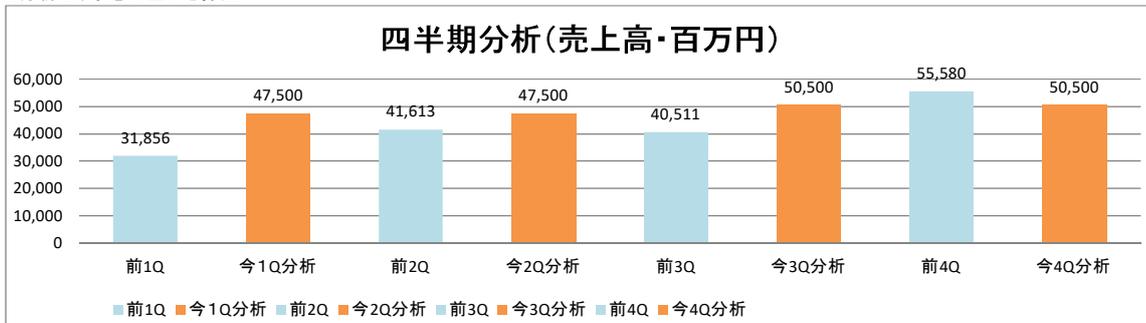
| VTホールディングス(株) | | | | | | (7593 東証1部)連結 | | | | |
|---------------|---------|-------|--------|------|-------|---------------|-------|------|-------|------|
| 基本分析 | 売上高 | 増収率 | 営業利益 | 利益率 | 経常利益 | 利益率 | 利益 | 利益率 | EPS | 1株配当 |
| 14/03連 | 132,682 | | 10,082 | 7.6% | 9,976 | 7.5% | 5,126 | 3.9% | 46.29 | 12.3 |
| 15/03連 | 136,376 | 2.8% | 7,347 | 5.4% | 7,434 | 5.5% | 4,633 | 3.4% | 39.38 | 14.0 |
| 16/03連 | 146,468 | 7.4% | 7,619 | 5.2% | 7,603 | 5.2% | 4,090 | 2.8% | 34.77 | 18.0 |
| 17/03連 | 169,560 | 15.8% | 7,592 | 4.5% | 7,937 | 4.7% | 4,421 | 2.6% | 37.58 | 17.0 |
| 今期予想 | 196,000 | 15.6% | 8500 | 4.3% | 8500 | 4.3% | 4800 | 2.4% | 40.80 | 18.0 |



このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KGR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKGR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いいたします。

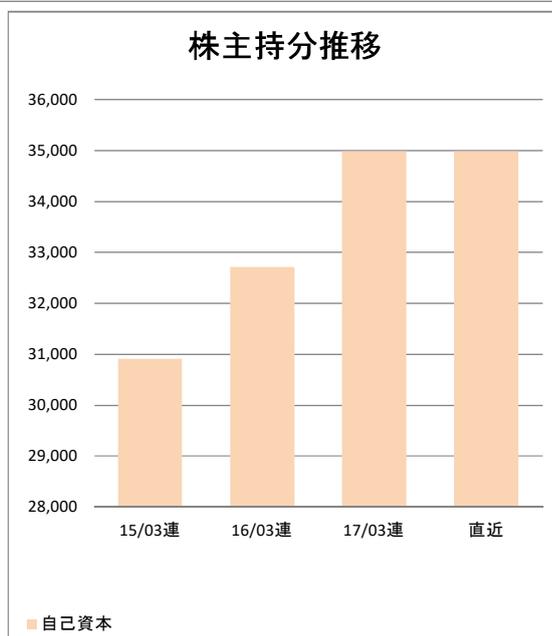
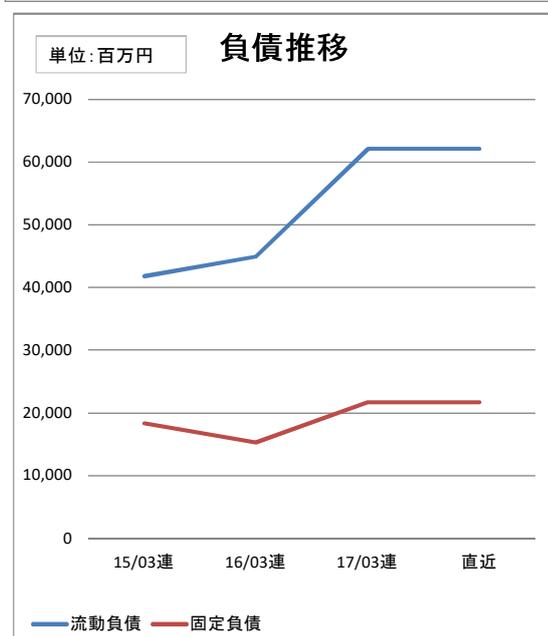
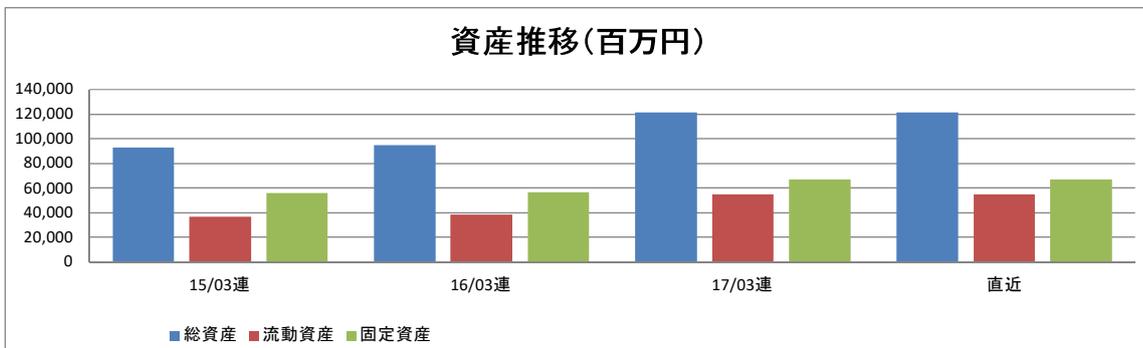
| VTホールディングス(株) | | | | | | | (7593 東証1部)連結 | | |
|---------------|--------|-------|-------|------|-------|------|---------------|------|--|
| 四半期分析 | 売上高 | 増収率 | 営業利益 | 利益率 | 経常利益 | 利益率 | 当期純利益 | 利益率 | |
| 前1Q | 31,856 | 49.1% | 964 | 3.0% | 892 | 2.8% | 436 | 1.4% | |
| 今1Q分析 | 47,500 | | 1,750 | 3.7% | 1,750 | 3.7% | 950 | 2.0% | |
| 前2Q | 41,613 | 14.1% | 2,078 | 5.0% | 2,154 | 5.2% | 1,254 | 3.0% | |
| 今2Q分析 | 47,500 | | 1,750 | 3.7% | 1,750 | 3.7% | 950 | 2.0% | |
| 前3Q | 40,511 | 24.7% | 1,120 | 2.8% | 1,303 | 3.2% | 573 | 1.4% | |
| 今3Q分析 | 50,500 | | 2,500 | 5.0% | 2,500 | 5.0% | 1,450 | 2.9% | |
| 前4Q | 55,580 | -9.1% | 3,430 | 6.2% | 3,588 | 6.5% | 2,158 | 3.9% | |
| 今4Q分析 | 50,500 | | 2,500 | 5.0% | 2,500 | 5.0% | 1,450 | 2.9% | |

※分析は、予想に基づき算出



このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KGR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKGR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いいたします。

| VTホールディングス(株) | | | | | | | (7593 東証1部)連結 | | | |
|---------------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------|--------|-------|--|
| 資産分析 | 総資産 | 流動資産 | 固定資産 | 流動負債 | 固定負債 | 自己資本 | 有利子負債 | 依存度 | 従業員数 | |
| 15/03連 | 92,722 | 36,647 | 56,125 | 41,817 | 18,350 | 30,915 | 21,727 | 23.43% | 2515 | |
| 16/03連 | 94,979 | 38,419 | 56,559 | 44,935 | 15,346 | 32,717 | 22,128 | 23.30% | 2589 | |
| 17/03連 | 121,493 | 54,702 | 66,791 | 62,091 | 21,759 | 34,983 | 28,989 | 23.86% | 2589 | |
| 直近 | 121,493 | 54,702 | 66,791 | 62,091 | 21,759 | 34,983 | 29,735 | 24.47% | 3,015 | |



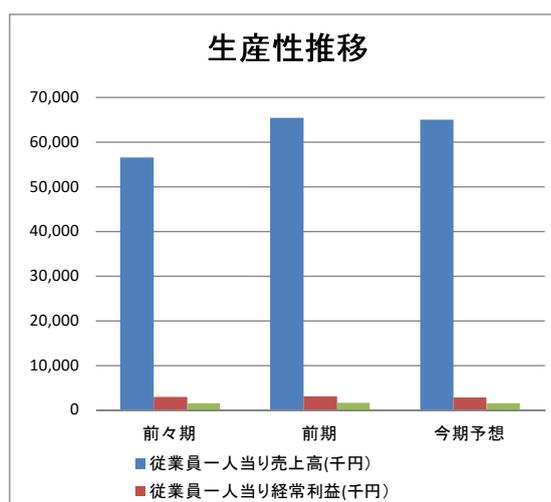
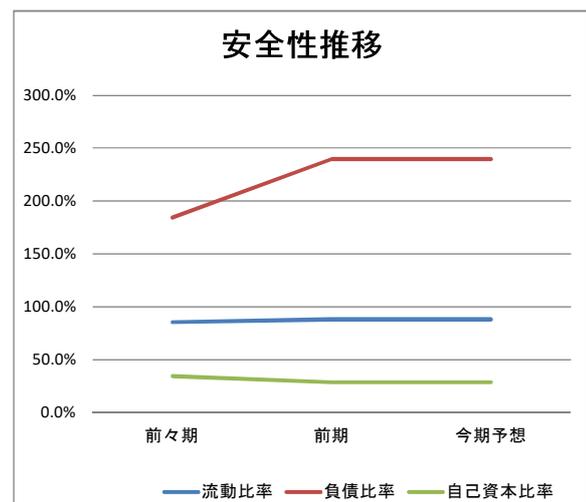
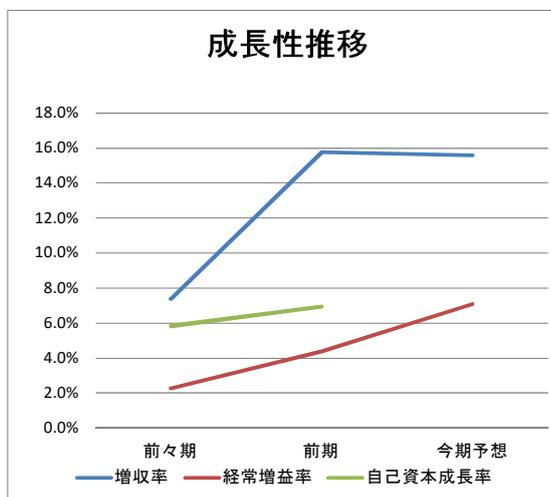
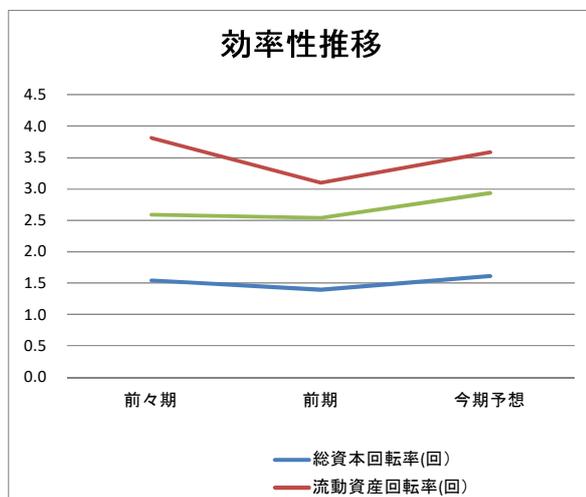
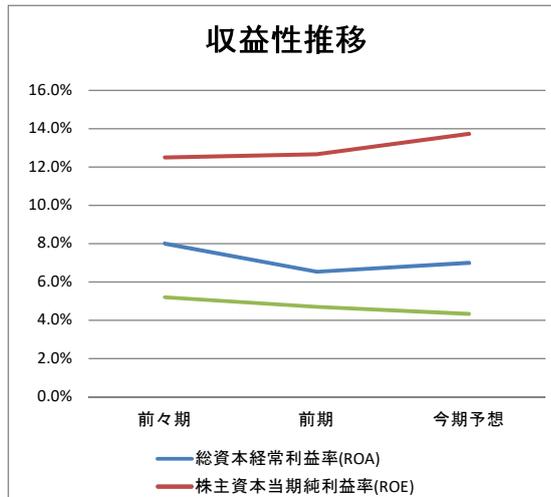
このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされまようお願いします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

VTホールディングス(株)

(7593 東証1部)連結

| 財務指標分析 | | | |
|-----------------|--------|--------|--------|
| 収益性 | | | |
| 総資本経常利益率(ROA) | 前々期 | 前期 | 今期予想 |
| | 8.0% | 6.5% | 7.0% |
| 株主資本当期純利益率(ROE) | 12.5% | 12.6% | 13.7% |
| 売上高経常利益率 | 5.2% | 4.7% | 4.3% |
| 効率性 | | | |
| 総資本回転率(回) | 前々期 | 前期 | 今期予想 |
| | 1.5 | 1.4 | 1.6 |
| 流動資産回転率(回) | 3.8 | 3.1 | 3.6 |
| 固定資産回転率(回) | 2.6 | 2.5 | 2.9 |
| 安全性 | | | |
| 流動比率 | 前々期 | 前期 | 直近 |
| | 85.5% | 88.1% | 88.1% |
| 負債比率 | 184.2% | 239.7% | 239.7% |
| 自己資本比率 | 34.4% | 28.8% | 28.8% |
| 成長性 | | | |
| 増収率 | 前々期 | 前期 | 今期予想 |
| | 7.4% | 15.8% | 15.6% |
| 経常増益率 | 2.3% | 4.4% | 7.1% |
| 自己資本成長率 | 5.8% | 6.9% | |
| 生産性 | | | |
| 従業員一人当り売上高(千円) | 前々期 | 前期 | 今期予想 |
| | 56,573 | 65,492 | 65,008 |
| 従業員一人当り経常利益(千円) | 2,937 | 3,066 | 2,819 |
| 従業員一人当り当期利益(千円) | 1,580 | 1,708 | 1,592 |

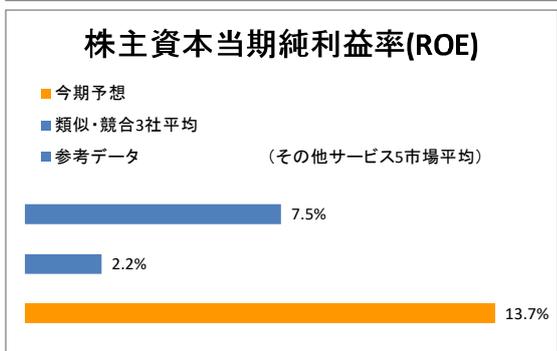
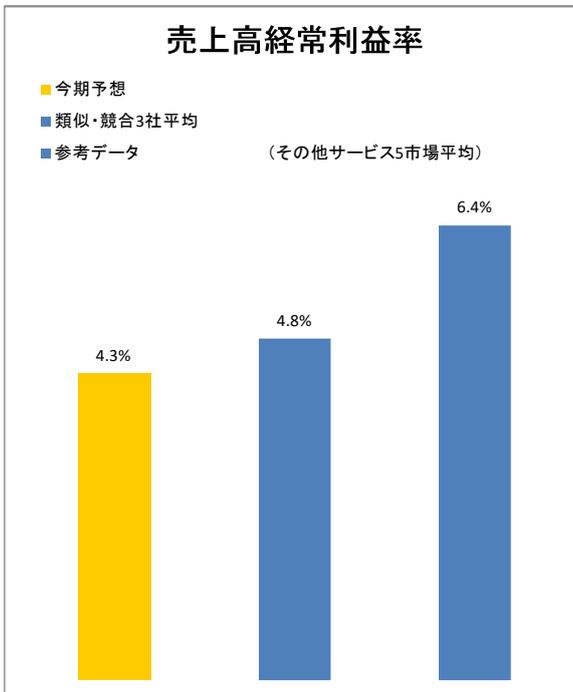
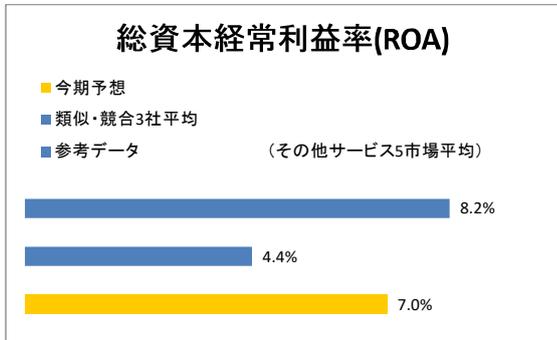
※アセットは原則直近値を用い一定として算定



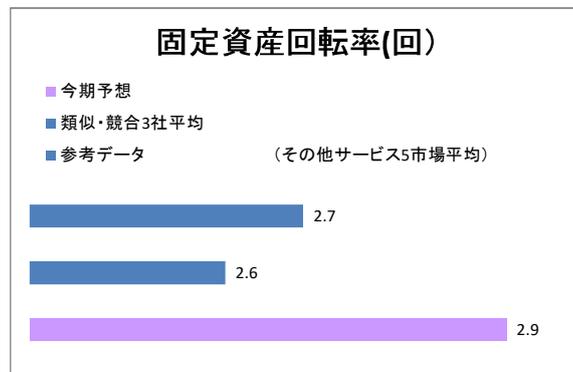
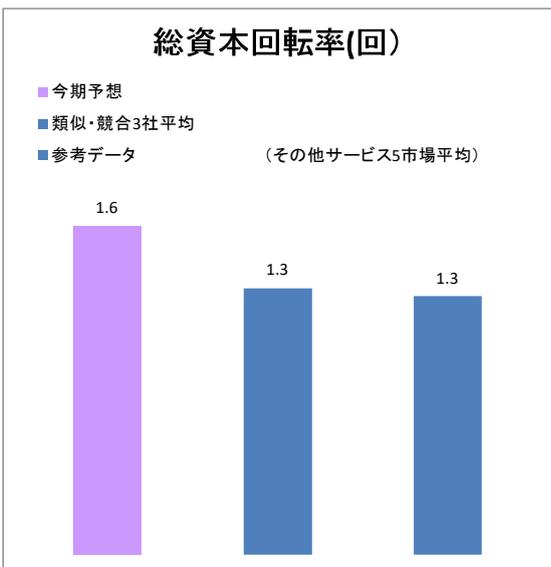
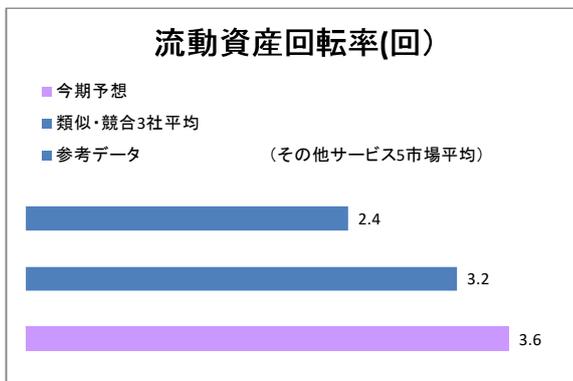
このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KGR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされまようお願いします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品については当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKGR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

VTホールディングス(株) (7593 東証1部)連結

| 収益性分析 | 今期予想 | 類似・競合3社平均 | 参考データ (その他) | 類似・競合3社 |
|-----------------|-------|-----------|----------------|------------------------|
| 総資本経常利益率(ROA) | 7.0% | 4.4% | 8.2% | 日本電産(株) (6594 東証1部)連結 |
| 株主資本当期純利益率(ROE) | 13.7% | 2.2% | 7.5% | (株)IDOM (7599 東証1部)連結 |
| 売上高経常利益率 | 4.3% | 4.8% | 6.4% | (株)コロワイド (7616 東証1部)連結 |



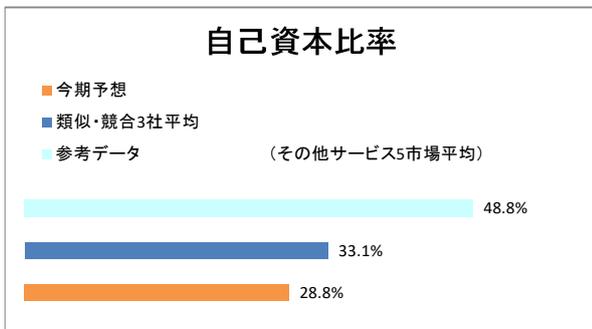
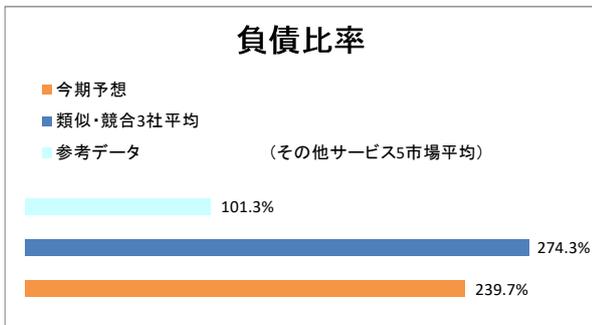
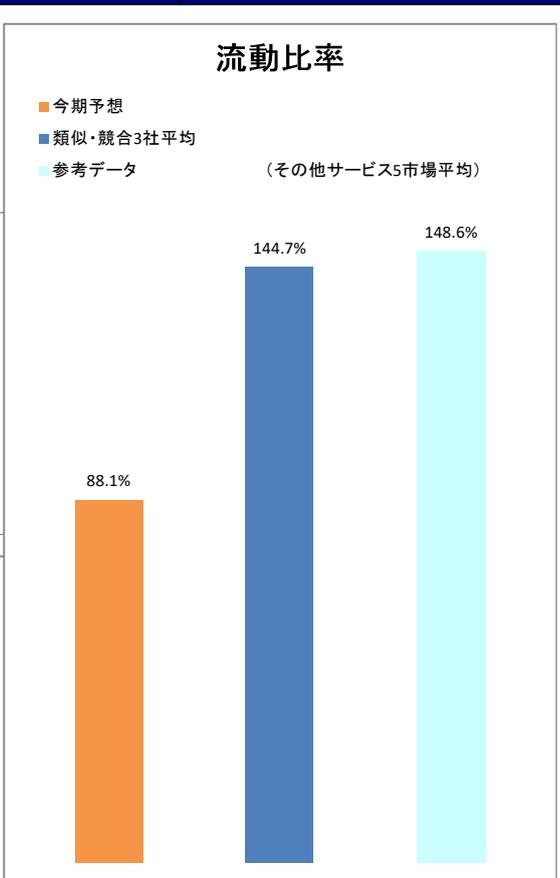
| 効率性分析 | 今期予想 | 類似・競合3社平均 | 参考データ (その他サービス5市場平均) |
|------------|------|-----------|-------------------------|
| 総資本回転率(回) | 1.6 | 1.3 | 1.3 |
| 流動資産回転率(回) | 3.6 | 3.2 | 2.4 |
| 固定資産回転率(回) | 2.9 | 2.6 | 2.7 |



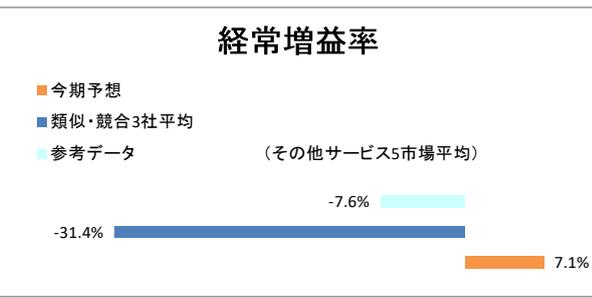
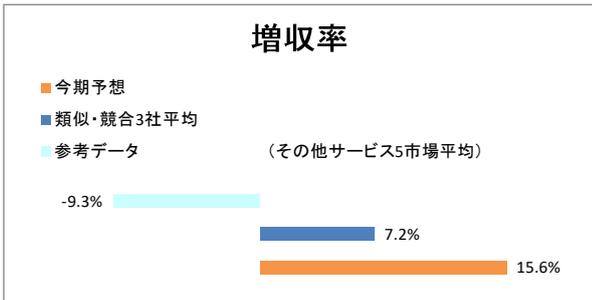
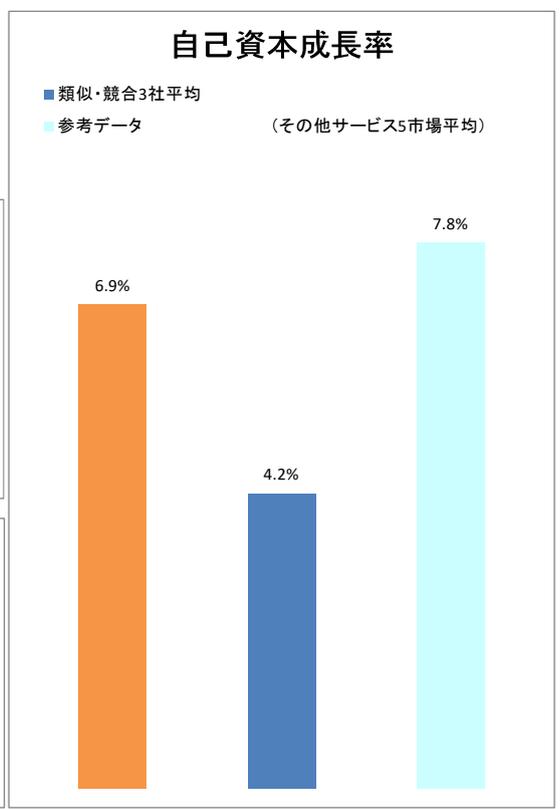
このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいていますが、KGR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKGR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いいたします。

VTホールディングス(株) (7593 東証1部)連結

| 安全性分析 | 直近 | 類似・競合3社平均 | 参考データ (その他サービス5市場平均) |
|--------|--------|-----------|-------------------------|
| 流動比率 | 88.1% | 144.7% | 148.6% |
| 負債比率 | 239.7% | 274.3% | 101.3% |
| 自己資本比率 | 28.8% | 33.1% | 48.8% |



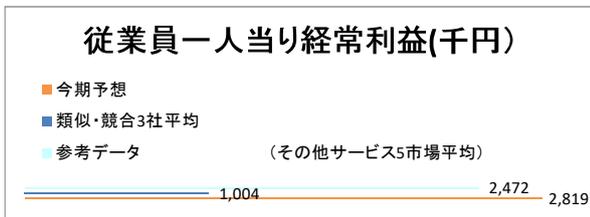
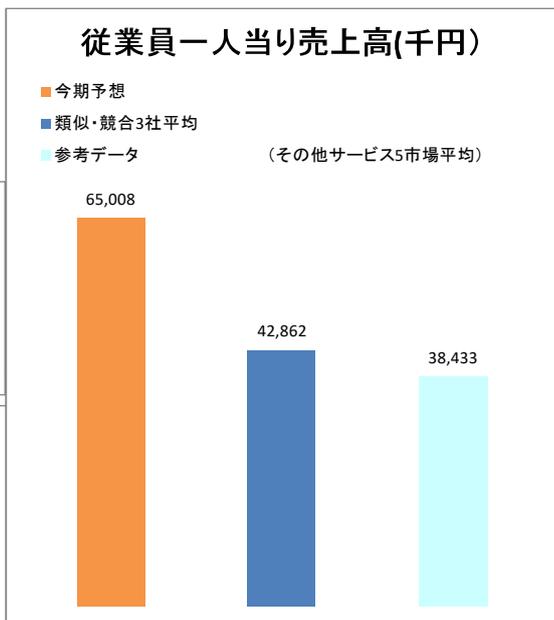
| 成長性分析 | 今期予想 | 類似・競合3社平均 | 参考データ (その他サービス5市場平均) |
|---------|-------|-----------|-------------------------|
| 増収率 | 15.6% | 7.2% | -9.3% |
| 経常増益率 | 7.1% | -31.4% | -7.6% |
| 自己資本成長率 | 6.9% | 4.2% | 7.8% |



このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KGR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKGR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いいたします。

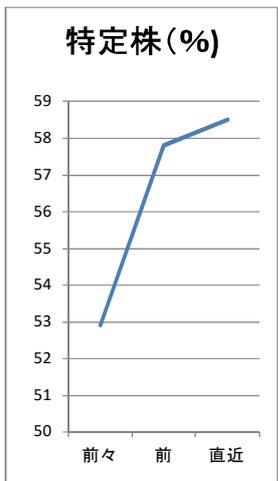
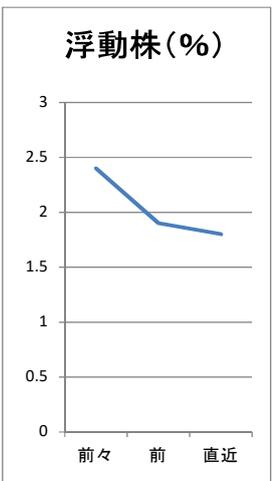
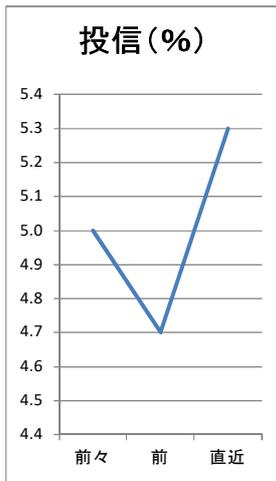
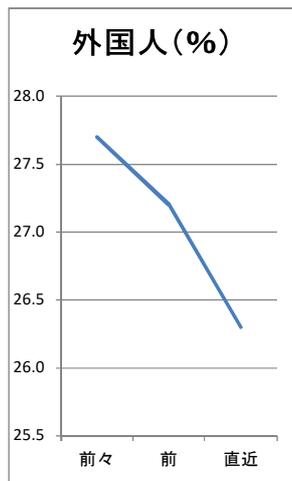
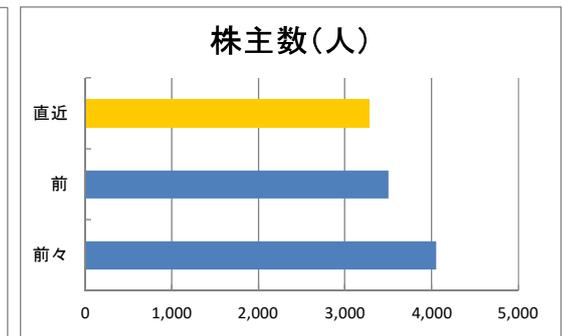
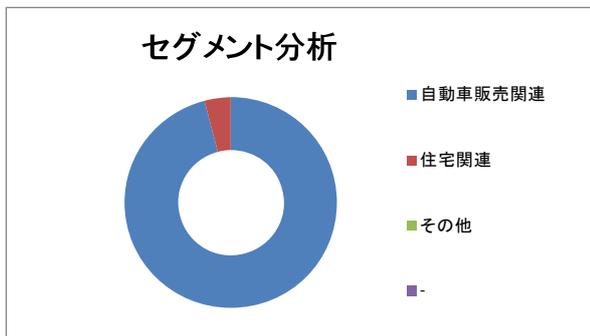
VTホールディングス(株) (7593 東証1部)連結

| 生産性分析 | 今期予想 | 類似・競合3社平均 | 参考データ (その他サービス5市場平均) |
|------------------|--------|-----------|-------------------------|
| 従業員一人当たり売上高(千円) | 65,008 | 42,862 | 38,433 |
| 従業員一人当たり経常利益(千円) | 2,819 | 1,004 | 2,472 |
| 従業員一人当たり当期利益(千円) | 1,592 | 242 | 1,065 |



| セグメント分析 | 17/03連 |
|---------|--------|
| 自動車販売関連 | 95.9% |
| 住宅関連 | 4.0% |
| その他 | 0.1% |
| - | 0.0% |
| 合計 | 100.0% |

| | 資本構成分析 | | | | |
|----|--------|-----|-----|------|-------|
| | (%) | (%) | (%) | (%) | (人) |
| | 外国人 | 投信 | 浮動株 | 特定株 | 株主数 |
| 前々 | 27.7 | 5.0 | 2.4 | 52.9 | 4,053 |
| 前 | 27.2 | 4.7 | 1.9 | 57.8 | 3,501 |
| 直近 | 26.3 | 5.3 | 1.8 | 58.5 | 3,277 |



このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいていますが、KGR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品については当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKGR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いいたします。

VTホールディングス(株)

(7593 東証1部)連結

IR総合判断

| | | | | | | | | | | | |
|--------|---|------|-----|--------|---------|------|---------|---------------|----------|------|--------------|
| 【コード】 | 7593 | 【業種】 | 小売業 | 【市場】 | 東証1部 | 【決算】 | 3月 | 【〒】 | 460-0003 | 【電話】 | 052-203-9500 |
| 【住所】 | 名古屋市中区錦3-10-32 | | | 【設立年月】 | 1983/03 | | 【開示責任者】 | 取締役管理部長 山内 一郎 | | | |
| 【代表者】 | 高橋 一穂 | | | 【直近株価】 | 626 円 | | | | | | |
| 【事業内容】 | カーディラー専門。ホンダ系、日産系を主軸にディーラー業務を世界的に展開。M&A戦略による成長戦略とストック型ビジネスモデルに特長。 | | | | | | | | | | |

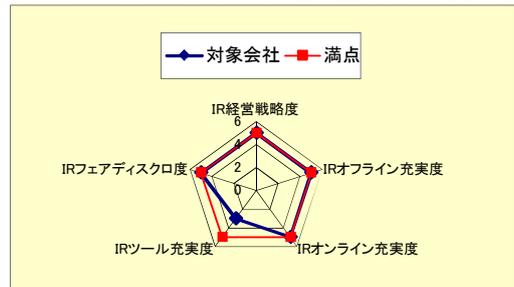
★★★★★

IR活動評価 参考データ 点数 VTホールディングス(株)

| | | | |
|--------------------|-------|-----|----|
| 1、IR活動実施状況(10点) | | | |
| 実施している | 89.3% | 10 | 10 |
| 2、IRの組織(10点) | | | |
| 専任部署 | | 10 | 8 |
| 総務部 | 24.0% | 4 | |
| 企画部 | 23.0% | 8 | |
| 広報部 | 17.0% | 3 | |
| 財務部 | | 5 | |
| 経理部 | | 3 | |
| 社長室 | | 6 | |
| その他 | | 2 | |
| 3、経営トップの姿勢(50点) | | | |
| 経営トップによるIR活動をしているか | 83.6% | 50 | 50 |
| 実施している | | 10 | 10 |
| その形態は | | | |
| トップが投資家向け説明会に参加 | 81.8% | 10 | 10 |
| トップがアナリストの個別取材を受ける | 67.6% | 30 | 30 |
| 4、IRコミュニケーション(80点) | | 80 | 75 |
| 決算説明会 | 77.7% | 10 | 10 |
| 個別面談 | 32.6% | 10 | 10 |
| 海外説明会 | 15.9% | 10 | 5 |
| 誰に対して実施するのか | | | |
| アナリスト・機関投資家 | 37.7% | 10 | 10 |
| 個人投資家 | 13.4% | 10 | 10 |
| 開示姿勢はフェアに行われているか | 重点項目 | 20 | 20 |
| 取材を受けるだけでなく投資家を訪問 | 50.0% | 10 | 10 |
| 5、IRツール(20点) | | 30 | 20 |
| 株主通信 | 89.6% | 10 | 10 |
| 英文資料(アニュアルレポート等) | 42.8% | 20 | 10 |
| 6、IRサイト(100点) | 97.5% | 100 | 97 |
| IRと明示されたサイトをもっているか | 79.4% | 10 | 10 |
| トップメッセージ | 45.9% | 10 | 10 |
| 有価証券報告書 | 42.0% | 10 | 10 |
| 決算短信 | 41.5% | 10 | 10 |
| 月次報告・株主通信・決算説明資料 | 36.2% | 10 | 7 |
| 説明会情報 | 28.5% | 10 | 10 |
| 動画 | 23.8% | 10 | 10 |
| メールマガジン | 19.5% | 10 | 10 |
| FAQ(よくある質問への回答) | 14.6% | 10 | 10 |
| 英文版IRサイト | 19.4% | 10 | 10 |
| 7、IR効果測定(10点) | | | |
| している | 84.3% | 10 | 10 |
| 8、IR年間費用(10点) | | | |
| 500万円以上～ | 24.0% | 10 | 10 |

合計 300 280

*採点判断については、フェアディスクロージャーに重点を置きヒアリング及び客観的評価によってKCR総研独自の判断基準を用いています。 KCR平均 203.7 ★の見方



| | | | | |
|-------------|--------|-------|-----------|-------|
| 総合評価 | 93.3% | 68.0% | 非常に良い270～ | ★★★★★ |
| IR経営戦略度 | 96.0% | 69.4% | 良い230～ | ★★★★★ |
| IRオフライン充実度 | 95.8% | 71.8% | 普通180～ | ★★★★ |
| IRオンライン充実度 | 97.0% | 65.4% | やや劣る130～ | ★★★ |
| IRツール充実度 | 66.7% | 45.6% | 非常に劣る80～ | ★ |
| IRフェアディスクロ度 | 100.0% | 70.3% | 問題あり0～ | — |

IR戦略分析レポートとは、当該企業のIRオンライン活動、オフライン活動、IRツール充実度、IRサイト充実度、IR経営戦略レベルの5つの視点から客観的に分析・評価されたレポートであり、KCR総研では企業のIRへの戦略的取組みが株価パフォーマンスに大きな影響を与えることから格付している。

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

KCR総研のレーティングシステム

個別企業

- +1またはStrong Buy = 当該銘柄の12カ月間の目標株価が現在の株価を20%以上上回ると判断する場合
- +2またはBuy = 当該銘柄の12カ月間の目標株価が現在の株価を10%以上上回ると判断する場合
- +3またはNeutral = 当該銘柄の12カ月間の目標株価と現在の株価の差が+10%~-10%未満の範囲内にあると判断する場合
- +4またはSell = 当該銘柄の12カ月間の目標株価が現在の株価を-10%以上下回ると判断する場合
- +5またはStrong Sell = 当該銘柄の12カ月間の目標株価が現在の株価を-20%以上下回ると判断する場合

レーティング変更(Changed) = 決算状況や、市況変動・環境の変化等により、レーティングおよび目標株価を変更する場合

レーティング停止(Suspended) = 法令や、社内規定により、一時的にレーティングおよび目標株価を停止する場合

NR・未付与 = KCRのレギュラーカバーの対象ではありません

- ★★★★★ = 当該企業の買いを強く推奨する
- ★★★★ = 当該企業の買いを推奨する
- ★★★ = 当該企業の買い持ち・売り持ち(中立)を推奨する
- ★★ = 当該企業の売りを推奨する
- ★ = 当該企業の売りを強く推奨する

セクター

- 強気 = 当該セクターの構成銘柄の大半の投資判断が強気の場合、あるいは我々のカバー銘柄の投資判断の加重平均が強気の場合
- 中立 = 当該セクターの構成銘柄の大半の投資判断が中立の場合、あるいは我々のカバー銘柄の投資判断の加重平均が中立の場合
- 弱気 = 当該セクターの構成銘柄の大半の投資判断が弱気の場合、あるいは我々のカバー銘柄の投資判断の加重平均が弱気の場合

※レーティングの見方 ※レーティング有効期間: 12ヶ月

| レーティング | 総合評価指数 | 予想される銘柄 | 推奨 |
|----------------|----------|----------------------------------|-------|
| +1 Strong Buy | 80%~100% | 1年以内に+20%以上のアウトパフォームが予想される銘柄 | ★★★★★ |
| +2 Buy | 60%~80% | 1年以内に+10%~のアウトパフォームが予想される銘柄 | ★★★★ |
| +3 Neutral | 40%~60% | 1年以内に+10%~-10%の相対パフォーマンスが予想される銘柄 | ★★★ |
| +4 Sell | 20%~40% | 1年以内に-10%~のアンダーパフォームが予想される銘柄 | ★★ |
| +5 Strong Sell | ~0%~20% | 1年以内に-20%以上のアンダーパフォームが予想される銘柄 | ★ |

KCR総研の目標株価

個別銘柄のレーティングは、マネジメントによる一定の裁量の下、「(目標株価-現在の株価)/現在の株価」で定義される目標株価まで株価が上昇あるいは下落する潜在的余地に基づいて付与されます。多くの場合、目標株価は12カ月後の潜在バリュエーション、すなわち割引キャッシュフロー(DCF)法やその他のバリュエーション手法を組み合わせて算出される当該銘柄の適正投資価値と等しくなります。

アナリストがレポートにおいて企業の目標株価に言及した場合、その目標株価はアナリストによる当該企業の業績予想に基づくものです。実際の株価は、当該企業の業績動向や、当該企業に関する市場や経済環境などのリスク要因により、目標株価に達しない可能性があります。

目標株価とレーティングは、それぞれの企業のレポートが発行された日現在のものです。このレポートの発行日のものとは限りません。それぞれ最近発行されたレポートをご覧ください。KCR総研の継続フォローアップに含まれていない銘柄の目標株価、レーティングは表示しません。

アナリスト証明

表紙に名前を記載されているアナリストは、レポートに記述されている全ての見方が各自のここで議論した全ての証券や発行企業に対する各自の見方を正確に反映していることを保証いたします。

さらに、表紙に名前を記載されているアナリストは、各自の報酬が、直接的あるいは間接的にこのレポートで議論した推奨や見方によって、現在、過去、未来にわたって一切影響を受けないこと、ならびに、KCRグループ企業が行ったいかなるコンサルティング案件とも関係ないことを保証いたします。

利益相反に関する開示事項

KCR総研は、契約に基づき有償にて個別企業のIRコンサルティング及びIR支援サービスを実施しております。KCR総研が過去・現在においてサービスを提供している会社につきましては、<http://www.ir-channel.jp/event/>に掲載されている企業をご参照ください。本件につき情報が必要な方はKCR総研調査部管理係り(TEL:06-6965-6100)までお問い合わせください。

本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。

表紙に名前を記載されているアナリストは本レポートのレポート発効日現在において本レポート対象銘柄の金融商品を保有していません。KCRグループの系列投資顧問会社である北浜キャピタル・アセット・マネジメント株式会社(近畿財務局長(金商)第66号)(社団法人日本証券投資顧問業協会会員番号022-00252)は本レポートのレポート発効日現在において本レポート対象銘柄の金融商品を保有していません。また、北浜キャピタル・アセット・マネジメント株式会社が無限責任組員である北浜IRファンド第1号において本レポートのレポート発効日現在において本レポート対象銘柄の金融商品を保有しております。北浜キャピタル・アセット・マネジメント株式会社が無限責任組員である北浜IRファンド第2号において本レポートのレポート発効日現在において本レポート対象銘柄の金融商品を保有していません。また、北浜キャピタル・アセット・マネジメント株式会社が無限責任組員である北浜IRファンド第3号において本レポートのレポート発効日現在において本レポート対象銘柄の金融商品を保有していません。

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいており、KCR総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますのでご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利はKCR総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。